

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすくら 都筑中川教室

保護者等数(家庭数) 19 回収数 19 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18件	1件	0件	0件	・毎回お散歩や公園に行くのがありがたいです。 ・危険のないように十分な配慮を継続する。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	17件	0件	0件	2件	・実際には見ていないので分かりません。 ・安全に配慮しながら、規程より多い配置をとっている。 ・これからも安心して頂けるようにコミュニケーションを大事にしたいと思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19件	0件	0件	0件	・玄関前の段差については必ず職員が手を繋ぐ配慮を徹底する。 ・トイレの扉に段差があるため、必ず見守りしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19件	0件	0件	0件	・面談等で、ご希望があれば実際にご覧いただく機会も作りたい。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19件	0件	0件	0件	・日々の小さな変化に気づき、都度適切な対応が出来るように、職員間の話し合いを大切にしていきたい。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	18件	0件	0件	1件	・これからも個々に合った支援方法を日々工夫をしながら進めたいと思う。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19件	0件	0件	0件	・個別の支援経過記録に目標が記載されており、誰が見ても分かりやすい工夫をし支援に活かしている。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	19件	0件	0件	0件	・引き続き、プログラムやイベントを通して様々な経験が出来るように提供したい。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9件	1件	1件	8件	・幼稚園等で定型児さんとの関わりは十分に持てていると思うので、特に必要はないです。 ・イベントや公園などの外出時に関わり方を伝えていきたい。
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19件	0件	0件	0件	・入所の際に時間を取り、説明がありました。 ・契約時に、管理者が行う。
保護者 への 説明 等	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	19件	0件	0件	0件	・契約時に、管理者が行う。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9件	2件	3件	5件	・通い始めて数回であり、判断が難しいです。すみません。 ・ペアトレとしては行ってないが、今後も相談しやすい環境作りを心掛けたい。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18件	1件	1件	0件	・保護者様の対応について職員間で意見交換を行い、日々の児童の様子を共有したい。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17件	1件	1件	0件	・定期的という訳ではないが、こちらから意見を求めた際はしっかり濃密して下さるので嬉しいです。 ・ご相談があった際には丁寧な対応を心掛けています。また内容を職員と共有し、支援に繋げるようにしている。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10件	3件	2件	4件	・コロナもあり、開催日数が減っていたと聞きました。様子を見ながら来月はもう少し増やしても嬉しいなと思いました。 ・通し始めたばかりなので、まだ分かりません。 ・親同士の交流の場が普段なかなか無いので、ぜひ定期的に開催して欲しいです。 ・今年度、久しぶりに保護者会を開催できた。夏祭りも含め交流できる機会を増やしたいと思う。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18件	0件	0件	1件	・日頃折り相談しやすい雰囲気を出されていて、安心感があります。 ・いつも親身になって話を聞いてくださって、ありがたいです。 ・相談しやすい環境作りを意識しており、安心して下さっているとお言葉に、大変うれしく思う。今後も継続したい。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19件	0件	0件	0件	・連絡帳や送迎時の伝達、電話相談などを継続する。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	17件	1件	0件	1件	・内々の活動報告の情報が毎月あり、とても分かりやすいです。 ・プライバシーの面等で難しいのかもしれないが、インスタグラム等で子どもの様子をもっとたくさん見られると良いなと思っています。 ・月に1回のこばんだより発行にて、活動内容をお知らせしている。 ・個人情報の中で難しい部分もあるが、日々の活動の様子を見ていただく機会を作りたい。(現在は誕生日にデータをプレゼント)
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	19件	0件	0件	0件	・今後も十分に配慮を行う。

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16件	1件	0件	2件	・定期的な避難訓練のほか、最近地震が多いため日常的に伝える必要があると考えている。・今年度より、緊急連絡対応として公式LINEの活用を開始している。	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15件	0件	0件	4件	・定期的な避難訓練を継続し、様子をお伝えする。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	19件	0件	0件	0件	・日によって行き渋りはあるもの、お迎えの車に乗ってしまえばニコニコしているとの事で、楽しんでるんだなと感じています。 ・いつも楽しく通っています。ありがとうございます！ ・前日から楽しみにしています。帰宅後は話したり制作物を見せてくれます。 ・安心して居られる場所の1つなので、毎回楽しみにしています。先生方の事も大好きです！月1のイベントも毎回喜んで帰ってきます。 ・子どもは毎回楽しく通っています。	・保護者さまより嬉しいご意見を多数頂き、とても嬉しく思います。今後もお子さまの成長を、職員全員で一緒に見守っていきたい。 ・お子さまが楽しく安心して過ごしていただけるように常に心掛けているので、大変嬉しく思う。
	23	事業所の支援に満足しているか	19件	0件	0件	0件	・とても満足していて、感謝の気持ちでいっぱいです。もう少し長い時間でも嬉しいですが、今のままでも充分です！いつもありがとうございます！ ・本人の成長が明らかに分かるほど伸びました！ありがとうございます！ ・通所して劇的に変わった事はまだ無いですが、子どもがリラックス出来る、楽しくて認められる場所が家のほかにある…というのは、親にも子どもにもとてもプラスになったのではないかと考えています。送迎して頂けるのもとてもありがたいです。 ・楽しく通えているし、成長していると思います。	・ご家族の方に成長を感じていただき、とても嬉しい。今後もお子さまの成長を、職員全員で一緒に見守っていきたい。 ・お子さまが楽しく安心して過ごしていただけるように常に心掛けているので、大変嬉しく思う。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすくら 都筑中川教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14件	0件	・教室内で死角がないように配慮をしている。	・児童の動きを予測して、安全に配慮していくこと
	2	職員の配置数は適切であるか	14件	0件	・ほぼ毎回、児童一人につき職員が一人ついている。 ・職員同士、人数確認を行い、臨機応変に支援をする。 ・職員の配置数は多めの配置になっており、児童の安全面を最大限考慮出来ている。 ・一人一人に手厚い支援が行えるよう、基準よりも多く配置している。 ・職員間の連携を強めて共通意識を持つ。	・児童に対して十分な職員配置を継続したい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14件	0件	・ホワイトボードに一日の流れや送迎メンバーがひと目で分かるお湯にしてある。 ・踏かないように、扉や入口には物を置かない。 ・子どもたちの活動空間にはなるべく物を置かないようにしている。 ・扉や壁にルールや説明がきを貼り、児童が理解出来るように環境を整える。 ・トイレは段差があるため見守りを必須としている。	・玄関前弥トイレの段差については必ず職員が見守りや介助を行うように配慮を徹底する。 ・児童の動きを想定して、今後もリスクのないように環境設定を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14件	0件	・毎日丁寧に清掃し、清潔を保っている。 ・掃除と消毒を毎日行っている。 ・毎日の掃除で環境に配慮している。 ・支援後に様々な職員で清掃にあたり、色々な目でチェック出来るようにしている。	・角から身を守るためのアイテムは劣化を確認する。 ・コロナが5類となった今でも、感染症対策のため、消毒や換気を継続して行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14件	0件	・昼休みや午後の始まりなどに意見を交換し、実際の業務で実行している。 ・利用者に関する課題や目標を職員で共有している。	・職員の意見を取り入れやすい環境作りを意識して、それぞれの想いを発信しやすいように気を付けている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14件	0件	・アンケートをもとに、改善すべきことをまとめて共有をしている。	・保護者さまのご意見やご要望については、今後に生かせるように職員全体で把握をして、都度相談の機会を重ねたいと思う。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	14件	0件	・ホームページにて公開をしている。	・毎年、年度末までに公表を行っている。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14件	0件	・本部のSVIによる訪問や助言。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	14件	0件	・全員一斉に集まることは難しいが、「研修」として書類見目を通すことも多い。 ・実際の支援の現場でノウハウを伝えたり、動画研修も行っている。 ・視覚障害児対応の研修等、状況に応じた研修を行っている。 ・年間計画を元に状況に応じた内容を実施。逆艇については必ず行い、新入社員は都度対応をしている。	・年に5~6回ほど研修の機会を設けているが、多くの職員が参加出来るように工夫していきたい。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14件	0件	・定期的に職員同士でアセスメントの内容をシェアし、より良い計画作成に繋がるようにしている。 ・多くの職員が日々感じたことを共有して、より良い計画を立てている。 ・全体の意見を児発管がまとめている。	・定期的な更新をし職員に共有することで、共通意識を持って支援をしたい。	
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	14件	0件	・支援経過記録を通して定期的に状況を把握している。 ・定期的な更新。	・定期的な更新を継続し、意見交換も積極的に行う。	
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14件	0件	・年齢やその子に合わせた支援を意識することが多い。 ・日々変化する子供の様子や出来るようになったことから、次のステップに向けて職員間で話し合う。 ・スモールステップを意識し、個々に合った目標を立てる。	・日々の児童の様子を把握することが大切。 ・個々に寄り添った支援を行えるように、職員同士の意見交換を続けたい。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回記入する「支援経過記録」に目標が書いてあるので、指導中も意識して支援している。 ・スタッフは常に計画表に目を通し、意識するようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の経過を確認しやすく、次に生かすことが出来る。 ・変化に気付きやすいため、今後も様々な見解を記録していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・10名程のチームでアイデアを提案しあっている。 ・2か月前に意見を出し合い、より良いプログラムを作る努力をしている。 ・毎月新しい案を出し合い、常に新しい活動プログラムを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの意見を取り入れることで、多方面からのアプローチが出来るように工夫をする。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・10名弱でアイデアを常に出しあっている。 ・個に対応した興味に応じたアプローチをしている。 ・様々な意見を取り入れ、リーダーが取りまとめを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいものを取り入れたり、必要な物は繰り返し行うようにする。 ・内容が偏らないように、児童にあったものを組み込むようにする。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢や状況を話し合い計画に落とし込んでいる。 ・対応が自己判断にならないように相談を大事にしている。 ・児発管が主となり支援計画を話し合いで考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、職員間での共有を継続していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、全体での一日の流れの確認や打ち合わせを行っている。 ・シフトにより朝の打ち合わせに参加出来ない時にも、時間を見つけて共有している。 ・前日までの変化なども共有し、毎回綿密な打ち合わせをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間での共有を継続し、協力できる環境を大切にしたい。 ・臨機応変に対応できるように情報共有をこまめに行うようにする。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務日報を通じて共有している。 ・職員間で気付きを共有する。 ・全員が集まるのが難しく、必要な子はSNSツールなども活用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換が出来る環境を継続し、より良い支援に繋げたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの目標に応じ、毎日支援経過記録をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援経過記録を継続する。 ・必要なことは迅速に職員共有を行う。
関係機関や保護者との連携	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なカンファレンスで見直しや継続を決める。 ・主に児発管が対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援経過記録やカンファレンスを通して、今後もお子さまの課題や状況を把握していく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も管理者が参加し、情報共有をしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・状況を確認したり、不安要素を共有する。 ・主に管理者が行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携をとりながら、児童にとってより良い支援を考える。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	8件	6件	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケア児童はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な場合にはしっかりと連絡体制を整えていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9件	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケア児童はいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害児の理解のため、言語聴覚士からの研修を受けた。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方と共有された内容は、紙ベースや口頭でも職員に共有されている。 ・保護者が間に入り、各関係先と連携をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に管理者が把握をし、周知徹底をする
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が間に入り、各関係先と連携をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に管理者が把握をし、周知徹底をする
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・療育センターやソーシャルワーカーとの連携あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連携を大切に、必要な時には随時連絡を取り合う。 ・会議などには積極的に参加したい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7件	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園や幼稚園に通いながら来所する子が多いため、機会を作ることはない。 ・交流会としての開催は無いが、公園等の外出先での交流はある。 	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13件	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・私は参加していないが、責任者が参加している。 ・管理者が参加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に管理者が把握をし、周知徹底をする
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳、送迎時、電話等で伝えあっている。 ・指導員であると連絡帳によるやり取りが主になるが、保護者の方との共通認識を持って指導にあたっている。 ・送迎時に、最近の様子を共有している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎時、電話相談などを引き続き行い、相談しやすい関係性を保ちたい。 	
保護者への説明責任	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	13件	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニングという形での支援は行っていない。 ・日々、相談しやすい環境作りを意識している。 	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に管理者が説明している。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・半年以内に一回の更新、面談等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談だけでなく、日々のご意見も丁寧に対応していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で情報を共有し助言や支援を行っている。 ・直接的なやり取りは主に管理者が行っている。面談は定期的にある。 ・連絡手段を分かりやすく質問箱を設置して、相談に答えることを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主に管理者が把握をし、周知徹底をする

	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、保護者会を行い、保護者同士をつなげることが出来た。 ・児発、放デイ合同で、今年度 保護者会を開催して、連携支援を行っている。 ・コロナが落ち着いたタイミングで保護者会を開催する事が出来、保護者同士のコミュニケーションや日々の支援を知ってもらう機会になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は1回開催出来た。今後も機会を増やしたい。 ・夏休みのおまつりは好評のため、今後も継続して保護者さま同士の繋がりが出来る機会も提供したい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・公式LINEを活用し、相談窓口を設け、必要に応じて保護者への周知もしている。 ・「保健の学習」という大きな課題の1つのテーマとして、経験者や専門職員を通して発信を行っている。常に相談対応を行う。 	・現在苦情はないが今後も十分な配慮のもと支援を行う。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行しているおたよりで活動の様子をお伝え出来ている。 ・おたよりの文章は交代制にし、様々な職員からメッセージを伝えている。 	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	14件	0件		・今後も引き続き、十分に注意を払う。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14件	0件	・会話や連絡帳など、配慮を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	7件	7件	<ul style="list-style-type: none"> ・支援中の外遊び等で関わられることもある。 ・要望や機会がない。 ・地域住民との関わりを持つ機会は、そうはありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からの要望や機械があれば話し合いたいと思う。 ・地域の行事などにも参加したいと考えている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14件	0件	・必要な時には手紙を配布する。	・特に感染症対策については引き続き徹底する。・SNS ツールを活用し、様々な情報共有を増やしたい。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14件	0件	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの中で実際に訓練も行っている。 ・年に2回、児童も含め避難訓練を行っている。 	・今後も継続する。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	14件	0件		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	14件	0件	・まとめた物を事務所に掲示しているが、重症に繋がる様な配慮が必要な児童はいない。	・対応すべき児童には丁寧に接するようにする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	14件	0件	・報告書の作成をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も気付きを増やしていきたい。 ・頻繁に職員で話し合いをする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14件	0件	・年1～2回の研修。また日々の話し合いは欠かせない。	・研修だけではなく、日々の話し合い等を今後も継続したい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	13件	1件	・身体拘束の必要な児童はいない。	<ul style="list-style-type: none"> ・誤解が生じないよう、日々の職員間での情報共有がある。 ・身体拘束ではない方法を考えていきたい。